

農林水産省林野庁 森林管理局



日本は国土の約7割が森林です。森林には、国土の保全、水源のかん養、地球温暖化の防止、木材の生産といった多面的な機能があります。森林管理局では、こうした森林の有する機能を将来にわたって発揮していくことを目的として、日本の森林の約3割を占める「国有林」の森林計画、森林の育成、木材の生産・販売、治山事業、生物多様性の保全、森林環境教育等を実施しています。

関東森林管理局

福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、静岡県の1都10県にわたる区域の国有林を約670名の職員で管理しています。管内の国有林野の多くは奥山の水源地に位置し、大都市の「水がめ」としての役割を持つ一方、自然景観にも恵まれ、国民の保健休養の場として広く活用されています。



中部森林管理局

富山県、長野県、岐阜県、愛知県の4県にまたがる国有林を約440名の職員で管理しています。日本の屋根と称される日本アルプスの山岳地帯から日本海、太平洋の海岸縁まで、変化に富んだ地形、多種多様な動植物の生息域となっている森林を保全管理しています。



【先輩職員からのメッセージ】



経理担当として、入札や支払、物品関係などの業務に携わっています。

行政区分採用のため、森林・林業の知識面で不安なところがありましたが、OJTや研修の中で必要知識は身につけることができ、少しずつ分からないことを減らすことが出来ています。優しい方が多く、分からないことは気軽に聞ける良い環境だと思います。

(R3年採用(大卒行政)関東森林管理局群馬森林管理署)



国有林材の資源量調査をもとに、木材の伐採計画を立てる業務などを担当しています。林業は課題も多く難しさを感じる場面もありますが、その分、早く知識や経験を積んで貢献したいという励みになっています。

よく気にかけてくださる優しい方が多く、また、現場への出張で自然を存分に感じられるところも職場の魅力だと感じています。

(R4年採用(大卒林学)中部森林管理局資源活用課)

【採用情報とキャリアパス】

試験区分：(一般職大卒程度)林学、土木、建築、行政、(一般職高卒者)林業、農業土木、事務

※試験区分による勤務地・業務内容のちがいはありません

勤務地：配属された森林管理局管内の森林管理署、本局等

異動：数年ごとに異動(転勤も含む)。希望や適性に応じて、他局、本庁や海外勤務などの機会もあり。

昇進：入庁後5～10年程度で森林官等の係長級に昇任。その後、課長補佐級、課長級…とキャリアアップ。

研修：基礎的知識を習得する新規採用研修、日常業務を通じてスキル高める職場内研修(OJT)など充実。

【問い合わせ先】

関東森林管理局 総務課人事係

〒371-8508 群馬県前橋市岩神町 4-16-25

TEL 027-210-1156

中部森林管理局 総務課人事係

〒380-8575 長野県長野市大字栗田 715-5

TEL 050-3160-6511